

株主の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本株主総会につきましては、極力、書面またはインターネットにより議決権行使を実施していただき、株主様の健康状態にかかわらず、株主総会当日のご来場をお控えいただくよう強くお願い申し上げます。

郵送またはインターネット等による議決権行使期限  
2021年6月22日(火曜日)午後6時30分まで

# 第54回 定時株主総会招集ご通知

**開催日時** | 2021年6月23日(水曜日)午前10時  
受付開始時間:午前9時

**開催場所** | 東京都新宿区西新宿三丁目7番1号  
新宿パークタワー パークハイアット東京  
39階 ボールルーム

**決議議案** | 第1号議案 剰余金処分の件  
第2号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションに関する報酬額等の一部改定の件

**!** 新型コロナウイルスの感染防止を目的として、株主懇談会およびご出席株主様へのお土産は取りやめとさせていただきます。  
何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

**A/** **アトネイチャー**

証券コード: 7823

平素より格別のご支援ならびにご高配を賜り誠にありがとうございます。

当社第54回定時株主総会招集ご通知をお届け致します。

現在も、新型コロナウイルス感染症の蔓延が私たちの生活に大きな影響をもたらしています。お亡くなりになられた方に哀悼の意を表するとともに、ご遺族の方には心よりお悔やみ申し上げます。また、感染が確認された方には、一日でも早い回復を願っております。

さて、2020年度（2021年3月期）の

国内経済は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により経済活動が大幅に制限される中、企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退など、厳しい状況で推移いたしました。

今後、ワクチン接種等の対策が開始された事で、需要は緩やかながらも拡大していくものと考えておりますが、隣接業界を含めた新規参入企業や同業他社との競争激化などにより、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しさを増していくものと思われま。

## ふやしたいのは、笑顔です

### Our Vision ～経営理念～

- ▶ 毛髪コンサルタントを使命とし、お客様に満足いただける毛髪文化を創造します。
- ▶ よりポジティブな生き方、より美しく輝きのあるライフスタイルを提唱します。
- ▶ グローバル・ネットワークで、最高の品質と最良のサービスを提供します。
- ▶ 広く社会から信頼される経営を通して、常に豊かで潤いのある未来を築いていきます。

こうした環境下、本年度もアートネイチャーグループの総力を挙げ、「ふやしたいのは笑顔です。」をモットーに、お客様のニーズに応えた最高品質の商品と最良のサービスを提供し、業績拡大に取り組み、日々業務に邁進してまいります。

株主の皆様には、引き続きより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 **五十嵐 祥剛**



## 目次

招集ご通知	3
議決権の行使等についてのご案内	4
株主総会参考書類	
第1号議案 剰余金処分の件	6
第2号議案 取締役に対する株式報酬型 ストック・オプションに関する 報酬額等の一部改定の件	7

事業報告	
1.当社グループの現況に関する事項	10
2.会社の現況	18
連結計算書類	29
計算書類	32
監査報告書	35

# 招集ご通知

証券コード 7823  
2021年6月4日

株主各位

東京都渋谷区代々木三丁目40番7号  
**株式会社アートネイチャー**  
代表取締役会長兼社長 五十嵐 祥剛

## 第54回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第54回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、**2021年6月22日(火曜日)午後6時30分まで**に議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

日 時	2021年6月23日(水曜日) 午前10時 受付開始時間：午前9時
場 所	東京都新宿区西新宿三丁目7番1号 新宿パークタワー パークハイアット東京 39階 ボールルーム (裏表紙の会場ご案内図をご参照ください。)
目的事項	<b>報告事項</b> 1. 第54期(2020年4月1日から2021年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第54期(2020年4月1日から2021年3月31日まで) 計算書類報告の件 <b>決議事項</b> 第1号議案 剰余金処分の件 第2号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションに関する報酬額等の一部改定の件

### お知らせ

当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

なお当社は、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、提供すべき書面のうち次に掲げる事項をインターネット上の当社のウェブサイト(URL <https://www.artnature.co.jp>)に掲載しておりますので、本株主総会招集ご通知の提供書面には記載しておりません。

- ・新株予約権等の状況
- ・業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況の概要
- ・連結注記表
- ・個別注記表

株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、修正後の事項をインターネット上の当社のウェブサイト(URL <https://www.artnature.co.jp>)に掲載させていただきます。

代理人による議決権行使 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、議決権行使書用紙、代理権を証明する書面に押印された印鑑証明書またはパスポート、運転免許証もしくは各種健康保険証の写しその他の株主様ご本人を確認できる資料とともに代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。

議決権の不統一行使に際してのご通知方法 株主様がその有する議決権を統一しないで行使される場合には、株主総会の日の3日前までに、当社に対してその有する議決権を統一しないで行使する旨及びその理由を書面によりご通知ください。

以 上

# 議決権の行使等についてのご案内

## 株主総会にご出席されない場合



### 書面による議決権行使

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご記入いただきご送付ください。

**行使期限** 2021年6月22日（火曜日）午後6時30分到着分まで



### インターネット等による議決権行使

次頁のインターネット等による議決権行使のご案内をご高覧の上、画面の案内に従って、賛否を入力してください。

**行使期限** 2021年6月22日（火曜日）午後6時30分まで

## 株主総会にご出席される場合



当日ご出席の際は、お手数ながら本招集ご通知をご持参いただくとともに同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

**開催日時** 2021年6月23日（水曜日）午前10時

# 招集ご通知



## インターネット等による議決権行使のご案内

インターネットによる議決権行使は、当社の指定する以下の議決権行使ウェブサイトをご利用いただくことによるのみ可能です。

### 議決権行使期限

2021年6月22日（火曜日）

午後6時30分まで

### 議決権行使ウェブサイト

<https://soukai.mizuho-tb.co.jp/>

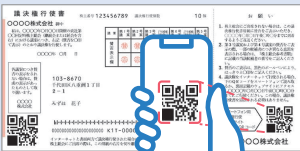
または



### QRコードを読み取る方法（「スマート行使」）

同封の議決権行使書用紙に記載された「スマートフォン用議決権行使ウェブサイトログインQRコード」を読み取りいただくことにより、「議決権行使コード」および「パスワード」が入力不要でアクセスできます。

※上記方法での議決権行使は1回に限りです。



### ❗ ご注意事項

- インターネットによる議決権行使は、当社指定の「議決権行使ウェブサイト」（上記URLをご参照ください。）にて議決権を行使可能です。ご希望の方は同封の議決権行使書用紙に記載の議決権行使コード及びパスワードにてログインいただき、画面の案内に従ってご入力ください。
- 今回ご案内する議決権行使コード及びパスワード（株主様が変更されたものを含みます。）は、本総会に関するのみ有効です。
- 書面による議決権行使とインターネットによる議決権行使により重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使を有効な行使としてお取扱いいたします。インターネットによる議決権行使により複数回、議決権を行使された場合は、最後の行使を有効な行使としてお取扱いいたします。
- インターネットに関する費用（プロバイダ接続料金・通信料金等）は、株主様のご負担となります。

### インターネットによる議決権行使に関するお問い合わせ

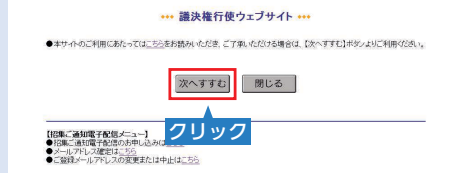
みずほ信託銀行 証券代行部 インターネットヘルプダイヤル

 **0120-768-524**

（受付時間 午前9時から午後9時まで 土日祝日を除く）

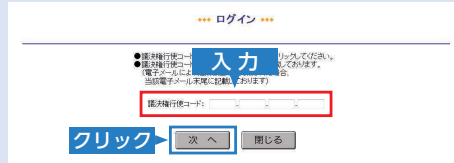
### 議決権行使コード・パスワードでアクセスする方法

#### 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスする



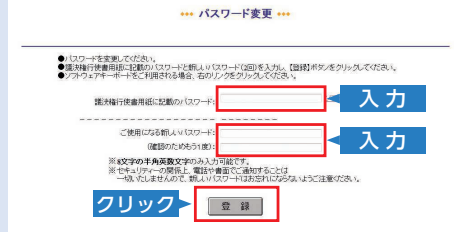
「次へすすむ」をクリック

#### 2 ログインする



お手元の議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」を入力し、「次へ」をクリック

#### 3 パスワードの入力・変更



議決権行使書用紙に記載の「パスワード」、「新しいパスワード」を入力し、「登録」をクリック

以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

## 第1号議案 剰余金処分の件

剰余金処分につきましては、次のとおりといたしたいと存じます。

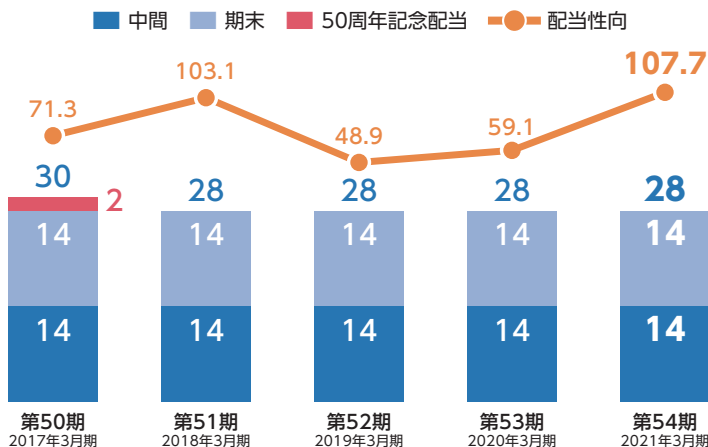
### 1. 期末配当に関する事項

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しており、経営基盤の強化、財務体質の強化、及び将来の事業拡大のための内部留保の充実を勘案しつつ、株主の皆様への安定配当の維持に努めることを基本方針としております。

第54期の期末配当につきましては、上記基本方針に基づき、当期の経営成績等を総合的に勘案した上で、普通配当14円を実施いたしたいと存じます。

1. 配当財産の種類	金銭といたします。
2. 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額	当社普通株式1株につき金 …………… 14円 総額 …………… 456,731,254円
3. 剰余金の配当が効力を生じる日	2021年6月24日といたしたいと存じます。

### ご参考 1株当たり年間配当金 (単位:円) / 連結配当性向の推移 (単位:%)



### 第2号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションに関する報酬額等の一部改定の件

当社の取締役の報酬として、2017年6月22日開催の第50回定時株主総会において、取締役（社外取締役を除く）に対して、年額100百万円以内の範囲で株式報酬型ストック・オプションとしての新株予約権を割り当てることにつき、ご承認いただいております（以下、上記株主総会における決議を「原決議」といいます。）。

今般、2021年3月1日付けの会社法の一部を改正する法律（令和元年法律第70号）の施行に伴い、ご承認いただいている新株予約権の内容のうち、行使条件及び取得事項につき改めてその内容について、ご承認をお願いするものであります。なお、本議案の内容は、原決議に比して報酬枠を増枠するものではなく、また、従前同様の手続きであり、実質的な変更はございません。

株式報酬型ストック・オプションの付与については、新株予約権の割当てを受けた取締役に対して、新株予約権の募集事項の決議日において当社の取締役の地位にあること及び下記の内容を含む新株予約権割り当契約を締結することを条件に、当社の取締役会決議に基づき払込金額と同額の報酬を付与し、当該報酬債権と当該新株予約権の払込金額とを相殺することにより新株予約権を取得させるものであります。ストック・オプションの報酬等の額は、新株予約権を割り当てる日において算出した新株予約権1個当たりの公正価格に、割り当てる新株予約権の総数を乗じて得た額となります。

なお、現在の当社取締役は9名（うち社外取締役2名）であります。

#### 記

当社の取締役（社外取締役を除く）に対する株式報酬型ストック・オプションとしての新株予約権の内容

#### (1) 新株予約権の目的である株式の種類及び数

新株予約権の目的である株式の種類は当社普通株式とし、新株予約権の目的である株式の数（以下、「付与株式数」という。）は1個当たり100株とする。ただし、本総会決議の日後、当社が普通株式につき、株式分割（当社普通株式の無償割当を含む。以下、株式分割の記載につき同じ。）又は株式併合を行う場合には、新株予約権のうち、当該株式分割又は株式併合の時点で行使されていない新株予約権について、付与株式数を次の計算により調整する。

$$\text{調整後付与株式数} = \text{調整前付与株式数} \times \text{分割又は併合の比率}$$

また、上記の他、付与株式数の調整を必要とするやむを得ない事由が生じたときは、当社は、当社の取締役会において必要と認められる付与株式数の調整を行うことができる。

なお、上記の調整の結果生じる1株未満の端数は、これを切り捨てる。



(2) 新株予約権の総数

各事業年度に係る定時株主総会の日から1年以内に割り当てる新株予約権の数は2,000個を上限とする。

(3) 新株予約権の払込金額

新株予約権1個当たりの払込金額は、新株予約権の割当てに際してブラック・ショールズ・モデル等の公正な算定方式により算定された新株予約権の公正価格を基準として取締役会において定める額とする。なお、新株予約権の割当てを受けた者（以下、「新株予約権者」という。）は、当該払込金額の払込みに代えて、当社に対する報酬債権をもって相殺するものとし、金銭の払込みを要しないものとする。

(4) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、新株予約権の行使により交付を受けることができる株式1株当たりの金額を1円とし、これに付与株式数を乗じた金額とする。

(5) 新株予約権を行使することができる期間

新株予約権を割り当てる日の翌日から50年以内の範囲で、当社の取締役会において定めるものとする。

(6) 新株予約権の行使の条件

- ①新株予約権者は、当社の取締役の地位を喪失した日の翌日から10日（10日目が休日に当たる場合には翌営業日）を経過する日までの間に限り、新株予約権を一括してのみ行使できるものとする。その他の新株予約権の行使条件については、新株予約権の募集事項を決定する取締役会において定めるものとする。
- ②新株予約権者が死亡した場合、その者の相続人は、新株予約権を一括してのみ行使することができるものとする。

(7) 譲渡による新株予約権の取得の制限

譲渡による新株予約権の取得については、当社の取締役会の承認を要するものとする。

### (8) 新株予約権の取得条項

- ①新株予約権者が権利行使をする前に、上述（6）の定め等により新株予約権を行使できなくなった場合、当社は当社の取締役会が別途定める日をもって当該新株予約権を無償で取得することができる。
- ②当社は、以下イ、ロ、ハ、ニ又はホの議案につき当社の株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は当社の取締役会で承認された場合）は、当社の取締役会が別途定める日に、新株予約権を無償で取得することができる。
  - イ 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案
  - ロ 当社が分割会社となる分割契約又は分割計画承認の議案
  - ハ 当社が完全子会社となる株式交換契約又は株式移転計画承認の議案
  - ニ 当社の発行する全部の株式の内容として譲渡による当該株式の取得について当社の承認を要することについての定めを設ける定款の変更承認の議案
  - ホ 新株予約権の目的である種類の株式の内容として譲渡による当該種類の株式の取得について当社の承認を要すること又は当該種類の株式について当社が株主総会の決議によってその全部を取得することについての定めを設ける定款の変更承認の議案

### (9) その他の新株予約権の内容

新株予約権に関するその他の内容については、新株予約権の募集事項を決定する取締役会において定めるものとする。

以 上

## 1 企業集団の現況に関する事項

### 1. 事業の経過及びその成果

#### ① 全般的概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が大幅に制限される中、企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退など厳しい状況で推移いたしました。また、景気の先行きについては、ワクチン接種等の対策が開始されたものの、感染者数は拡大減少を繰り返すなど未だ感染収束時期の見通しは立たず、極めて不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社では、本年度を初年度とする中期3ヵ年計画「アートネイチャー Challengeプラン」を策定し、既存領域を拡充するとともに新事業の領域を更に拡大して「次代を切り拓くアートネイチャー」の礎を築いていくため、「業績伸長」「新領域の開拓」「採用の強化」「人財の育成」「市場との対話」「業務の刷新」の6つの「重点チャレンジ施策」を実践するとともに、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底し、事業活動を実施してまいりました。

業績面においては、新型コロナウイルス感染症の拡大によるフィリピンでの生産工場の一時的な休止や国内の一部店舗の休業等により第2四半期連結累計期間まで大きな影響を受けた一方、第3四半期連結会計期間以降は、その影響が解消されつつあるため、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。その結果、連結会計年度の売上高は、358億68百万円（前連結会計年度比9.2%減）となりました。また、利益面では広告宣伝費をはじめとした販売費の抑制、その他管理費の節減に努めたものの、第2四半期連結累計期間までの売上高の落ち込みをカバーするまでには至らず、営業利益は19億32百万円（同33.8%減）、経常利益は20億5百万円（同33.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は8億40百万円（同45.5%減）となりました。

当社グループの主要事業は、毛髪関連製品の製造・販売及びサービスの提供です。主要商品・サービス及びセグメント別の売上高は次のとおりです。

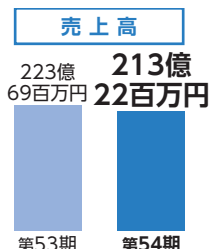
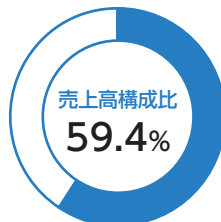
(注) 本事業報告において「当社グループ」とは、会社法施行規則第120条第2項に用いられている「企業集団」を意味するものとします。

オーダーメイドかつら	HFL FORCE、REQUA MEISTER、フリーディア3
増毛	MRP REAL、ビューティアップMeu
育毛ケア	LABOMO HairTech SYSTEMホームケアセット
育毛サービス	LABOMO HairTech SYSTEM
理容備品	LABOMO ヘアグロウ ミノキシ5（第1類医薬品（男性用））、 LABOMO ヘアグロウ ハナミノキ（第1類医薬品（女性用））、 LABOMO ヘアカラートリートメント、アートミクロンシリーズ
既製品ウィッグ	ジュリア・オージェ、ANCS、NAO-ART

## 男性向け事業

**売上高** 213億 22百万円 前期比 4.7%減

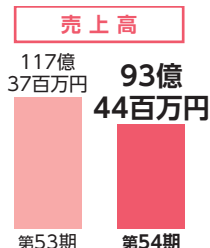
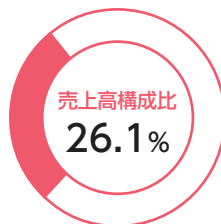
新型コロナウイルス感染症拡大に伴うフィリピンでの生産工場の一時的な休止等の影響を受け、主にオーダーメイドかつらの売上が減少したこと等により213億22百万円（前連結会計年度比4.7%減）となりました。



## 女性向け事業

**売上高** 93億 44百万円 前期比 20.4%減

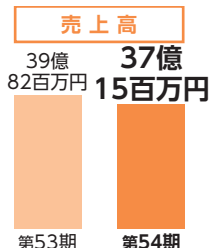
男性向け売上高同様、フィリピンでの生産工場の一時的な休止等の影響に加え、時短営業及び来店顧客数の減少等により93億44百万円（同20.4%減）となりました。



## 女性向け既製品事業

**売上高** 37億 15百万円 前期比 6.7%減

入居する商業施設の休業等の影響により、37億15百万円（同6.7%減）となりました。



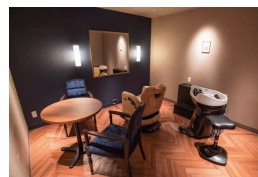
## ② 資金調達の状況

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の事業への影響等に備え、手元資金を確保し財務基盤の安定性を高めるため30億円の借入を行いました。なお、本年度末においては十分な手元資金を確保できていることから、本借入金は全額返済しております。

## ③ 設備投資等の状況

当連結会計年度中に実施いたしました当社グループの設備投資の総額は8億85百万円で、その主なものは次のとおりです。

- イ 当連結会計年度中に購入または完成した主要設備  
新規出店 2店舗 (小田原LS、堺LS)  
既存店舗の移転 7店舗 (八王子店、立川LS、佐賀店、佐賀LS  
小田原店、堺店、飯塚店)  
別形態店舗 (アックス病院内サロン) 新規出店 1店舗  
(松山赤十字病院店)



- 当連結会計年度中において継続中の主要設備の新設  
新規出店予定 1店舗 (五反田LS)



- ハ 当連結会計年度中に実施した重要な固定資産の売却、撤去、滅失  
該当事項はありません。

(注) LSは、「レディースサロン」をいいます。

## ④ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

## ⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

## ⑥ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

## ⑦ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

該当事項はありません。

# 事業報告

## 2. 財産及び損益の状況の推移

### ① 企業集団の財産及び損益の状況の推移

区 分	第51期 2017年度	第52期 2018年度	第53期 2019年度	第54期 2020年度 (当連結会計年度)
売上高 (百万円)	37,254	37,985	39,484	35,868
営業利益 (百万円)	2,579	3,227	2,919	1,932
経常利益 (百万円)	2,707	3,308	3,006	2,005
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	897	1,864	1,542	840
1株当たり当期純利益	27円17銭	57円23銭	47円40銭	25円99銭
総資産 (百万円)	40,888	42,971	43,163	44,919
純資産 (百万円)	24,021	24,767	25,337	25,255
1株当たり純資産額	731円51銭	757円39銭	777円92銭	781円00銭

### ② 当社の財産及び損益の状況の推移

区 分	第51期 2017年度	第52期 2018年度	第53期 2019年度	第54期 2020年度 (当期)
売上高 (百万円)	37,047	37,760	38,697	34,649
営業利益 (百万円)	2,808	3,190	3,000	2,140
経常利益 (百万円)	2,751	3,265	3,085	2,167
当期純利益 (百万円)	483	1,875	1,557	993
1株当たり当期純利益	14円65銭	57円57銭	47円88銭	30円72銭
総資産 (百万円)	40,056	42,174	42,102	43,992
純資産 (百万円)	23,856	24,716	25,219	25,297
1株当たり純資産額	726円86銭	756円22銭	774円69銭	782円57銭

### 3. 重要な子会社の状況

会社名	資本金	議決権比率	主な事業内容
ARTNATURE PHILIPPINES INC.	90,000,000 フィリピン・ペソ	100.0%	かつらの製造
ARTNATURE MANUFACTURING PHILIPPINES INC.	260,000,000 フィリピン・ペソ	100.0%	かつらの製造
アイトゥリーファ 瓊特麗发（上海）貿易有限公司	61,000,000 中国・人民元	100.0%	毛髪関連製品の 販売
NAO-ART株式会社	10,000,000円	100.0%	毛髪関連製品の 販売

### 4. 対処すべき課題

当社グループの属する国内毛髪関連市場は、高齢化社会の進展、定年延長、女性労働の活性化、アンチエイジング志向の高まり等により需要の拡大が見込める一方で、毛髪業界のみならず、隣接業界との競合関係も厳しさを増していくものと推察されます。こうした環境下において、安定的な成長と企業価値の向上を目指すべく以下の課題に重点的に取り組んでまいります。

第一に、国内外の市場において、お客様の数を増やすことです。当社はおお客様のニーズに応えた最高の品質の製品と最良のサービスを開発し、定期的に市場投入すると同時に、お客様に対してより効果的な反響が得られるような広告宣伝を工夫し、需要の掘り起こしを図ってまいります。メンズ及びレディース部門では、お客様満足の向上に注力し「アートネイチャーの真のファン」の数を増やすと共に、お客様の定着化に向けた施策を実践することで、安定的な成長を目指します。女性向け既製品ウィッグ部門は、お客様一人ひとりに合った提案を徹底することで、業績の拡大を目指します。理容備品販売においても、新商品の投入により商品ラインアップを増やし、商品を拡充すると共に、当社商品を取り扱うECサイトを増やす等、販路を拡大することで、業績拡大を目指します。海外市場においては、中国、シンガポール、タイ、マレーシアにおける当社ブランドの浸透と、地域に根差した販売施策によって潜在需要の掘り起こしを行い、業績の拡大に取り組めます。

## 事業報告

第二に、既存事業以外の新領域の事業に挑むことです。これまで取組んできた、比較的安い価格帯のウィッグ事業、医薬品販売事業、医療関連サポート事業を着実に軌道に乗せると共に、国内外のM&Aや新規事業の立ち上げ等により、新領域の事業に取組み、当社グループの更なる成長を図ってまいります。

第三に、高水準の人財を安定的に確保することです。当社では社員一人ひとりが生き活きと働いて、最大限のパフォーマンスを発揮できるように様々な施策を講じています。女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし」の認定を取得する等、ダイバーシティマネジメントを推進しております。また、「働き方改革」の中での長時間労働の撲滅や仕事と家庭の両立を支援する仕組み等のワークライフ・バランスを重視すると共に、健康経営を積極的に推進しております。今後も様々な施策を実践していくことで、従業員との一体感を醸成し、より働き甲斐のある職場を作ってまいります。

第四に、多岐に亘るお客様ニーズへの対応力と本社における企画力や経営管理力の引き上げです。当社では、正社員の約8割に当たる1,856名（2021年3月31日現在）が理容師または美容師の資格保有者です。これらの従業員の「技術力」「接客力」「商品提案力」といった基礎能力を引き上げ、お客様ニーズを満たし、お客様から信頼され共感される人財の育成を目指してまいります。営業部門以外の従業員についても、様々な企画立案やグループ会社の経営管理を担える人財を育成すべく、各分野のエキスパートになるために、教育研修制度の確立と自己研鑽を支援する仕組みを構築してまいります。

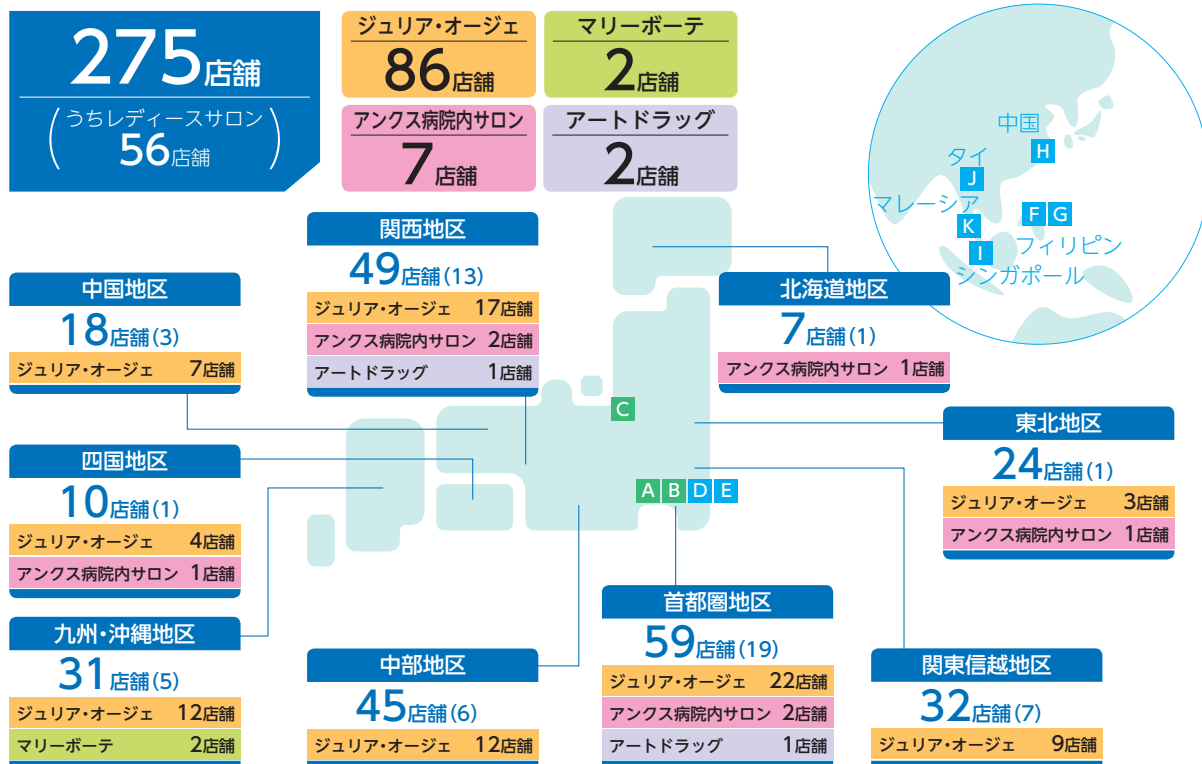
第五に、当社グループの中長期的な企業価値を向上させることです。当社グループでは既にSDGsに係る様々な取組みを実践していますが、新たに「プラスチックの削減」と「新しいサービス体制の構築」に挑むと共に、IR活動等を通じて、市場との対話を強化してまいります。

第六に、当社グループをより収益が生まれさせる体制へ転換することです。当社グループの収益構造を見直し、あらゆる無駄を徹底的にそぎ落とすことで、固定費を圧縮し、損益分岐点を引き下げ、効率的かつ効果的な収益体制を実現してまいります。また、ペーパーレス化やシステム化等により業務の刷新を進め、生産性を向上させてまいります。



## 5. 主要な営業所及び工場 (2021年3月31日現在) ※なおマリーポーテ2店舗は2021年4月1日ジュリア・オージェに統合

- 当社
  - 本社 (東京都渋谷区) ..... A
  - AN第2別館 (東京都渋谷区) ..... B
  - 商品物流センター (新潟県村上市) ..... C
- 子会社
  - NAO-ART株式会社 (東京都千代田区) ..... D
  - 株式会社アート三川屋 (東京都渋谷区) ..... E
  - ARTNATURE PHILIPPINES INC. (フィリピン) ..... F
  - ARTNATURE MANUFACTURING PHILIPPINES INC. (フィリピン) ..... G
  - アイトゥリーファ  
優特丽发 (上海) 貿易有限公司 (中国) ..... H
  - ARTNATURE SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール) ..... I
  - ARTNATURE (THAILAND) CO.,LTD. (タイ) ..... J
  - ARTNATURE MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア) ..... K



# 事業報告

## 6. 従業員の状況 (2021年3月31日現在)

### ① 当社グループの従業員の状況

事業部門の名称	従業員数	前連結会計年度末比増減
毛髪関連事業	3,723人	1人増
全社(共通)	213人	4人増
合計	3,936人	5人増

- (注) 1. 従業員数は、就業人員(当社グループからグループ外への出向者を除く)であり、上記従業員の他に、臨時従業員(パートタイマー、派遣社員、契約社員、嘱託社員を含む)323人(期中平均人員)を雇用しております。  
2. 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定の事業部門に区分できない管理部門に所属しているものであります。

### ② 当社の従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
2,291人	1人増	42.4歳	10年8ヶ月

- (注) 従業員数は、就業人員(当社から当社外への出向者を除く)であり、上記従業員の他に、臨時従業員(パートタイマー、派遣社員、契約社員、嘱託社員を含む)279人(期中平均人員)を雇用しております。

## 7. 主要な借入先の状況 (2021年3月31日現在)

金融機関からの借入金はありません。

なお、取引金融機関と融資限度額を決めたコミットメントライン契約(融資限度額50億円)を締結しております。

## 2 会社の現況 (2021年3月31日現在)

### 1. 株式の状況

- ① 発行可能株式総数 110,880,000株
- ② 発行済株式の総数 34,393,200株 (自己株式 1,769,539株を含む)
- ③ 株主数 5,479名
- ④ 大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
	株	%
五 十 嵐 祥 剛	6,177,940	18.9
有 限 会 社 ア イ ・ コ ー ポ レ ー シ ョ ン	3,302,000	10.1
塚 本 武	2,550,600	7.8
光 通 信 株 式 会 社	2,077,300	6.3
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,603,000	4.9
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行 株 式 会 社 ( 信 託 口 )	1,357,000	4.1
五 十 嵐 啓 介	989,200	3.0
石 井 英 昭	969,300	2.9
ア ー ト ネ イ チ ャ ー 社 員 持 株 会	786,235	2.4
株 式 会 社 日 本 カ ス ト デ ィ 銀 行 ( 信 託 口 )	575,800	1.7

- (注) 1. 当社は、自己株式を1,769,539株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
 なお、自己株式1,769,539株には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する当社株式528,000株は含まれておりません。
3. 大株主について、当社として実質所有を確認できた五十嵐啓介の所有株式数については、信託財産等を合算(名寄せ)して表示していますが、その他については、株主名簿の記載通りに記載しています。

# 事業報告

## 2. 会社役員 の 状況

### ① 取締役及び監査役の状況 (2021年3月31日現在)

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役会長兼社長	五十嵐 祥 剛	ARTNATURE MANUFACTURING PHILIPPINES INC. 取締役会長 ARTNATURE LANDHOLDING PHILIPPINES INC. 取締役会長 <small>アイトゥリーファ</small> 瓊特丽发 (上海) 貿易有限公司董事 ARTNATURE SINGAPORE PTE. LTD. 取締役会長 ARTNATURE MALAYSIA SDN. BHD. 取締役会長 ARTNATURE (THAILAND) CO.,LTD. 取締役会長
専 務 取 締 役	森 安 寿 一	上席執行役員営業本部長 営業本部主担当 (メンズ担当)
常 務 取 締 役	五十嵐 啓 介	営業本部副担当 (西日本強化担当) 有限会社アイ・コーポレーション代表取締役社長
常 務 取 締 役	内 藤 功	管理本部、経営企画部、コーポレート・コミュニケーション部、 コンプライアンス統括室担当 NAO-ART株式会社 取締役
常 務 取 締 役	川 田 孝 志	上席執行役員営業本部副本部長 営業本部副担当 (企画・レディース担当、外販商品営業部担当)、 海外事業担当 <small>アイトゥリーファ</small> 瓊特丽发 (上海) 貿易有限公司董事長 ARTNATURE SINGAPORE PTE. LTD. 取締役 ARTNATURE MALAYSIA SDN. BHD. 取締役 ARTNATURE (THAILAND) CO.,LTD. 取締役 株式会社AN友の会 取締役社長 NAO-ART株式会社 取締役
取 締 役	川 添 久 幸	上席執行役員生産本部長 生産本部担当 ARTNATURE MANUFACTURING PHILIPPINES INC. 取締役社長 ARTNATURE LANDHOLDING PHILIPPINES INC. 取締役副会長
取 締 役	佐 竹 圭 介	上席執行役員営業本部副本部長 営業本部副担当 (マーケティング推進部担当) 株式会社アート三川屋 取締役
取 締 役	<small>社外取締役</small> 長 尾 二 郎 <small>独立役員</small>	左門町法律事務所 弁護士
取 締 役	<small>社外取締役</small> 小橋川 保 子 <small>独立役員</small>	JK&CREW税理士法人社員 公認会計士 税理士

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
常 勤 監 査 役	松 島 俊 一	
監 査 役	<small>社外監査役</small> <small>独立役員</small> 長谷川 裕 昭	税理士法人長谷川共同会計事務所代表社員
監 査 役	<small>社外監査役</small> <small>独立役員</small> 檜 山 聡	弁護士法人檜山・佐賀法律事務所代表社員 弁護士

- (注) 1. 取締役 長尾 二郎及び小橋川 保子は、社外取締役であります。  
 2. 監査役 長谷川 裕昭及び檜山 聡は、社外監査役であります。  
 3. 監査役 長谷川 裕昭は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。  
 4. 当社は、取締役 長尾 二郎及び小橋川 保子ならびに監査役 長谷川 裕昭及び檜山 聡を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。  
 5. 当社と取締役 長尾 二郎、小橋川 保子、監査役 松島 俊一、長谷川 裕昭、檜山 聡は会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が定める最低責任限度額としております。  
 6. 当社は、当社及び当社の子会社の取締役、監査役及び執行役員等を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結していません。保険料は全額当社が負担しており、役員等がその職務の執行に起因して保険期間中に損害賠償請求された場合の損害賠償金及び争訟費用等が当該保険にて填補されます。また、当該保険契約は役員等の職務執行の適正のため免責事項が設定されておりますので、当該免責事項に該当する場合には、填補されず被保険者である役員等の自己負担となります。

## ② 当事業年度中に退任した取締役及び監査役

該当事項はありません

## ③ 取締役及び監査役の報酬等の額

### イ 取締役の個別の報酬等

取締役の個別の報酬等については、次のような「取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針」の通りであります。

#### <取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針>

##### 1. 基本方針

当社の取締役の報酬等は、優秀な人材を確保・維持できる水準を勘案しつつ、当社企業グループの業績及び企業価値の増大へのモチベーションを高めることに主眼をおいた報酬体系とする。

個々の取締役の報酬の決定に際しては、各事業年度における企業価値増大に向けての職責を考慮して、取締役会決議をもって報酬等を決定することを基本方針とする。

具体的には、業務執行取締役の報酬等は、各事業年度における業績の向上並びに中長期的な企業価値増大に向けて職責を負うことを考慮して、固定報酬や臨時報酬、自社株報酬

のバランスを勘案した報酬体系とする。

社外取締役については、当社企業グループ全体の職務執行に対する監督及び現在の経営陣による当社の経営について意見を表明する機能を負うことから、固定報酬とする。

2. 基本報酬等(金銭報酬)の個人別の報酬等の額の決定に関する方針(報酬等を与える時期または条件の決定に関する方針を含む。)

当社の取締役の基本報酬等は、固定報酬と臨時報酬で構成され、役位、職責に応じて他社水準、会社の業績や経営内容、経済情勢などを総合的に考慮して決定する方針とする。

当社の取締役の基本報酬等のうち、固定報酬は毎月、臨時報酬は前項の方針を踏まえ年一回支給する。

基本報酬等を与える時期や条件、個人別の額については、株主総会で承認された総額の枠内で、取締役会決議に従って決定し、個人別の額については、取締役会の審議によっては代表取締役社長に一任される。

3. 業績連動報酬等ならびに非金銭報酬等の内容および額または数の算定方法の決定に関する方針(報酬等を与える時期または条件の決定に関する方針を含む。)

業績連動報酬等は、現状導入していない。

非金銭報酬等は、株主の皆様と株価変動によるメリットとリスクを共有し、当社グループの持続的な企業価値向上への貢献意欲を高めることを目的として、業務執行取締役に対して株式報酬型ストック・オプションを導入する。

株式報酬型ストック・オプションの付与は、新株予約権の割当てを受けた取締役に対し、払込金額と同額の報酬を年一回付与し、当該報酬債権と当該新株予約権の払込金額とを相殺することにより新株予約権を取得させるものである。

新株予約権を与える時期や条件、個人別の新株予約権の個数については、株主総会で承認された総額の枠内で、取締役会決議に従って決定し、個人別の新株予約権の個数については、取締役会の審議によっては代表取締役社長に一任される。

4. 金銭報酬の額、業績連動報酬等の額または非金銭報酬等の額の取締役の個人別の報酬等の額に対する割合の決定に関する方針

業務執行取締役の種類別の報酬割合については、各事業年度における業績の向上並びに中長期的な企業価値増大に向けて職責を負うことを考慮して、固定報酬や臨時報酬、自社株報酬のバランスを勘案した報酬体系とする。

## 5. 取締役の個人別の報酬等の内容についての決定に関する事項

個人別の報酬等については、株主総会で承認された総額の枠内で、取締役会決議に従って決定し、取締役会の審議によっては代表取締役社長に一任される。その権限の内容は、各取締役の固定報酬および業務執行取締役の臨時報酬の額の決定、株式報酬型ストック・オプションの個数の決定とする。

取締役会は、当該権限が代表取締役社長によって適切に行使されるよう、社外取締役や社外監査役からは適切な助言を得るものとし、上記の一任をうけた代表取締役社長は、当該助言の内容を踏まえ決定をしなければならないこととする。

### □ 取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

その権限の内容は上述イの方針通りですが、代表取締役会長兼社長五十嵐祥剛が永年に亘り当社の属する業界に在籍しており、業界の動向や慣行、報酬の水準等を含めた他社事例に精通していることから、適切に決定できると判断し、委任しております。また、取締役の個人別の報酬等の内容の決定にあたっては、上述イの方針に従った検討を行っております。

## ハ 当事業年度に係る報酬等の総額

役員区分	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額 (千円)			対象となる 役員の数 (人)
		固定報酬	業績連動報酬	非金銭報酬	
取締役 (内 社外取締役)	404,820 (10,560)	363,401 (10,560)	— (—)	41,419 (—)	9 (2)
監査役 (内 社外監査役)	27,300 (9,600)	27,300 (9,600)	— —	— —	3 (2)

- (注) 1. 取締役の報酬額は、2012年6月21日開催の第45回定時株主総会において年額700百万円以内と決議いただいております。当該定時株主総会終結時点の取締役（社外取締役を除く。）の員数は8名です。また、2017年6月22日開催の第50回定時株主総会において年額100百万円の範囲内で株式報酬型ストック・オプションとしての新株予約権を割り当てることを決議いただいております。当該定時株主総会終結時点の取締役（社外取締役を除く。）の員数は7名です。
2. 監査役の報酬額は、2006年6月29日開催の第39回定時株主総会において年額50百万円以内と決議いただいております。当該定時株主総会終結時点の監査役の員数は3名です。
3. 固定報酬の額には、当事業年度における取締役7名に対する役員賞与引当金の繰入額130百万円が含まれております。
4. 非金銭報酬等は、ストックオプションとして付与した新株予約権に係る当事業年度中の費用計上額であります。
5. 固定報酬の額にグループ会社役員兼務の取締役に対するグループ会社からの当事業年度の役員報酬が含まれております。
6. 取締役の個人別の報酬等の内容の決定にあたっては、上述イの方針に従った検討を行っているため、取締役会もその決定方針に沿うものであると判断しております。

## 4 社外役員に関する事項

### イ 社外取締役に関する事項

#### 取締役 長尾 二郎

(ア) 他の法人等の業務執行者としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係  
該当事項はありません。

(イ) 他の法人等の社外役員としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係  
該当事項はありません。

(ウ) 会社または会社の特定関係事業者の業務執行者または役員（業務執行者を除く）との  
親族関係

当社の知りうる限り、当社または当社の特定関係事業者の業務執行者または役員（業務執行者を除く）の三親等以内の親族等であったことはありません。

(エ) 当事業年度における取締役会への出席状況及び発言状況

当事業年度開催の取締役会全てに出席し、主に弁護士としての専門的見地から、適時適切な質問、助言等を行っております。

(オ) 社外取締役が果たすことが期待される役割に関して行った職務の概要

弁護士として、長年培ってきた専門知識と豊富な実務経験の双方に基づき、有意義な助言をするとともに、独立した立場から業務執行者等の職務の執行を監督しました。

(カ) 責任限定契約の内容の概要

社外取締役が任務を怠ったことによって当社に対して損害賠償責任を負う場合について、法令に定める最低責任限度額を限度として責任を負う旨の責任限定契約を締結しております。

なお、上記の責任限定が認められるのは、当該社外取締役が責任の原因となった職務の遂行について善意かつ重大な過失がないときに限るものと同契約で規定されております。

(キ) 当社の子会社等から当事業年度の役員として受けた報酬等の額

該当事項はありません。

#### 取締役 小橋川 保子

(ア) 他の法人等の業務執行者としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係  
該当事項はありません。

(イ) 他の法人等の社外役員としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係  
該当事項はありません。



- (ウ) 会社または会社の特定関係事業者の業務執行者または役員（業務執行者を除く）との親族関係  
当社の知りうる限り、当社または当社の特定関係事業者の業務執行者または役員（業務執行者を除く）の三親等以内の親族等であったことはありません。
- (エ) 当事業年度における取締役会への出席状況及び発言状況  
当事業年度開催の取締役会全てに出席し、主に公認会計士としての専門的見地から、適時適切な質問、助言等を行っております。
- (オ) 社外取締役が果たすことが期待される役割に関して行った職務の概要  
公認会計士として、長年培ってきた専門知識と豊富な実務経験の双方に基づき、有意義な助言をするとともに、独立した立場から業務執行者等の職務の執行を監督しました。
- (カ) 責任限定契約の内容の概要  
社外取締役が任務を怠ったことによって当社に対して損害賠償責任を負う場合について、法令に定める最低責任限度額を限度として責任を負う旨の責任限定契約を締結しております。  
なお、上記の責任限定が認められるのは、当該社外取締役が責任の原因となった職務の遂行について善意かつ重大な過失がないときに限るものと同契約で規定されております。
- (キ) 当社の子会社等から当事業年度の役員として受けた報酬等の額  
該当事項はありません。

□ 社外監査役に関する事項

**監査役 長谷川 裕昭**

- (ア) 他の法人等の業務執行者としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係  
該当事項はありません。
- (イ) 他の法人等の社外役員としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係  
該当事項はありません。
- (ウ) 会社または会社の特定関係事業者の業務執行者または役員（業務執行者を除く）との親族関係  
当社の知りうる限り、当社または当社の特定関係事業者の業務執行者または役員（業務執行者を除く）の三親等以内の親族等であったことはありません。
- (エ) 当事業年度における主な活動状況  
当事業年度開催の取締役会、及び監査役会のいずれも全てに出席し、主に公認会計士としての専門的見地から、適時適切な質問、助言を行う等、独立の立場から経営を監視し、監査機能を十分に担っております。

(オ) 責任限定契約の内容の概要

社外監査役が任務を怠ったことによって当社に対して損害賠償責任を負う場合について、法令に定める最低責任限度額を限度として責任を負う旨の責任限定契約を締結しております。

なお、上記の責任限定が認められるのは、当該社外監査役が責任の原因となった職務の遂行について善意かつ重大な過失がないときに限るものと同契約で規定されております。

(カ) 当社の子会社等から当事業年度の役員として受けた報酬等の額

該当事項はありません。

### 監査役 檜山 聡

(ア) 他の法人等の業務執行者としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係  
該当事項はありません。

(イ) 他の法人等の社外役員としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係  
該当事項はありません。

(ウ) 会社または会社の特定関係事業者の業務執行者または役員（業務執行者を除く）との親族関係

当社の知りうる限り、当社または当社の特定関係事業者の業務執行者または役員（業務執行者を除く）の三親等以内の親族等であったことはありません。

(エ) 当事業年度における主な活動状況

当事業年度開催の取締役会、及び監査役会のいずれも全てに出席し、主に弁護士としての専門的見地から、適時適切に質問、助言を行う等、独立の立場から経営を監視し、監査機能を十分に担っております。

(オ) 責任限定契約の内容の概要

社外監査役が任務を怠ったことによって当社に対して損害賠償責任を負う場合について、法令に定める最低責任限度額を限度として責任を負う旨の責任限定契約を締結しております。

なお、上記の責任限定が認められるのは、当該社外監査役が責任の原因となった職務の遂行について善意かつ重大な過失がないときに限るものと同契約で規定されております。

(カ) 当社の子会社等から当事業年度の役員として受けた報酬等の額

該当事項はありません。

### 3. 会計監査人の状況

#### ① 会計監査人の名称

EY新日本有限責任監査法人

#### ② 報酬等の額

	報酬等の額（千円）
公認会計士法第2条第1項の業務に係る報酬等の額	47,000
当社及び当社の子会社が会計監査人に支払うべき金銭 その他の財産上の利益の合計額	47,000

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の額を区分しておらず、実質的にも区分できませんので、公認会計士法第2条第1項の業務に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 当社の重要な子会社ARTNATURE PHILIPPINES INC.及びARTNATURE MANUFACTURING PHILIPPINES INC.の会計監査はSYCIP GORRES VELAYO & CO.が、<sup>フィリピン</sup>瓊特丽发（上海）貿易有限公司の会計監査は、上海銘瑞会計師事務所有限公司が行っております。

#### ③ 会計監査人の報酬等に対して監査役会等が同意した理由

当社監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、監査項目別監査時間及び監査報酬の推移ならびに過年度の監査計画と実績の状況を確認し、当事業年度の監査時間及び監査報酬額の妥当性を検討した結果、会計監査人の報酬等につき、会社法第399条第1項の同意を行っております。

#### ④ 非監査業務の内容

該当事項はありません。

#### ⑤ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、当該会計監査人の解任の検討をし、解任が妥当と認められる場合には、監査役全員の同意に基づき会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告します。

#### ⑥ 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

## 4. コーポレートガバナンス・コードへの対応

### ① 基本的な考え方

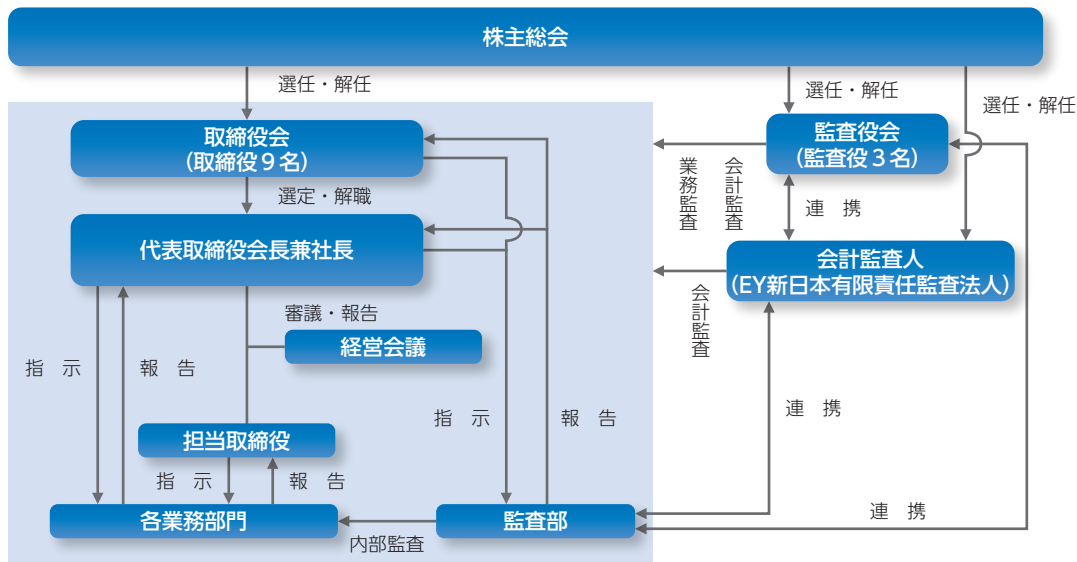
当社グループは、「ふやしたいのは、笑顔です。」をモットーに、髪に関して悩みを抱えている一人ひとりのお客様に最も適した製品、サービスを提供することにより、お客様に満足頂ける毛髪文化を創造することを経営理念としております。

この理念に沿って、当社グループの永続的な発展を追求するとともに、適正な利益を確保することによって、株主・取引先・従業員・地域社会等のステークホルダーと共に繁栄する企業を目指しております。これを実践するために、コーポレート・ガバナンスの充実に努めるとともに、法令を遵守するコンプライアンス経営を推進いたします。

### ② 基本方針

- イ 株主の権利・平等性の確保に努めます。
- ロ 株主以外のステークホルダー（お客様、取引先、債権者、地域社会、従業員等）との適切な協働に努めます。
- ハ 適切な情報開示と透明性の確保に努めます。
- ニ 透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うため、取締役会の役割・責務の適切な遂行に努めます。
- ホ 株主との建設的な対話に努めます。

(当社のコーポレート・ガバナンス体制の概略は以下のとおりであります。)



## 5. 株式会社の支配に関する基本方針

当社が企業価値の維持・向上を実現するためには、中長期的な経営戦略に基づき、商品開発力の強化、人材の育成、グループ経営によるコスト低減、生産性向上を目指した事業展開を実施する等の種々の施策に継続的に取り組むことが必要であり、また株主、取引先、従業員、地域住民等のステークホルダーとの信頼関係を維持していくことが不可欠であると考えております。

上記施策の継続的实施や取引先を始めとするステークホルダーとの信頼関係の維持が当社の株式の買付を行う者によって中長期的に確保されない場合は、当社の企業価値、ひいては株主共同の利益は毀損されることとなります。

当社取締役会は、上記の施策の継続的な実施、及び取引先を始めとするステークホルダーとの信頼関係の維持が確保されない、即ち、当社の企業価値・株主共同の利益の確保・向上に資さない当社株式の大量取得や買付提案を行う者は、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者として適当でないと考えています。

現在のところ、当社の株式を大量に取得しようとする者の存在によって当社に具体的な脅威が発生している訳ではなく、また、当社として、そのような買付者が出現した場合の具体的な取組み（いわゆる「買収防衛策」）を予め定めるものではありません。

しかしながら、当社としましては、株主・投資家の皆様から負託されました当然の責務として、当社株式取引や株主の異動を常に注視し、当社株式を大量に取得しようとする者が出現した場合には、直ちに当社として最も適切と判断する措置を取るものとします。

具体的には、社外の専門家を含めて当該買収提案の評価や株式取得者との交渉を行い、当社の企業価値・株主共同の利益に資さない場合には、具体的な対抗措置の要否及び内容等を速やかに決定し、実行する体制を整えるものとします。

## 6. 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主への利益還元を経営の最重要課題の一つと認識しており、経営基盤の強化、財務体質の強化及び将来の事業拡大のための内部留保の充実を勘案しつつ、株主への安定配当の維持に努めることを基本方針としております。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針とします。

これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

内部留保資金につきましては厳しい競合他社との競争に打ち勝っていくため、他社との差別化、営業力強化を図るべく店舗の移転・リニューアル、システム等に有効投資してまいりたいと考えております。

当社は、「取締役会の決議によって毎年9月30日を基準日として、中間配当をすることができる。」旨を定款に定めております。

## 連結貸借対照表 (2021年3月31日現在)

単位：百万円

科 目	当年度	[ご参考] 前年度	科 目	当年度	[ご参考] 前年度
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>26,586</b>	<b>24,553</b>	<b>流動負債</b>	<b>12,147</b>	<b>10,523</b>
現金及び預金	19,073	17,096	買掛金	327	218
売掛金	2,914	2,887	未払金	1,947	2,140
有価証券	22	22	未払法人税等	1,053	574
商品及び製品	2,394	2,095	前受金	6,464	5,270
仕掛品	172	143	賞与引当金	996	954
原材料及び貯蔵品	1,084	1,312	役員賞与引当金	130	100
前払費用	715	761	商品保証引当金	31	38
その他	215	242	ポイント引当金	107	96
貸倒引当金	△5	△6	その他	1,088	1,130
<b>固定資産</b>	<b>18,332</b>	<b>18,610</b>	<b>固定負債</b>	<b>7,517</b>	<b>7,302</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>8,674</b>	<b>9,099</b>	退職給付に係る負債	4,078	3,935
建物及び構築物	4,755	5,015	資産除去債務	1,511	1,452
機械装置及び運搬具	51	52	その他	1,927	1,914
土地	3,488	3,526	<b>負債合計</b>	<b>19,664</b>	<b>17,825</b>
建設仮勘定	1	8	<b>純資産の部</b>		
その他	378	496	<b>株主資本</b>	<b>25,011</b>	<b>25,268</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>1,121</b>	<b>1,422</b>	資本金	3,667	3,667
のれん	602	774	資本剰余金	3,558	3,558
その他	519	648	利益剰余金	19,075	19,141
<b>投資その他の資産</b>	<b>8,536</b>	<b>8,087</b>	自己株式	△1,289	△1,099
投資有価証券	2,319	1,928	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>55</b>	<b>△89</b>
繰延税金資産	3,291	3,181	その他有価証券評価差額金	96	△49
敷金及び保証金	2,451	2,411	為替換算調整勘定	△5	37
退職給付に係る資産	—	33	退職給付に係る調整累計額	△35	△76
その他	709	588	<b>新株予約権</b>	<b>180</b>	<b>145</b>
貸倒引当金	△235	△55	<b>非支配株主持分</b>	<b>8</b>	<b>13</b>
<b>資産合計</b>	<b>44,919</b>	<b>43,163</b>	<b>純資産合計</b>	<b>25,255</b>	<b>25,337</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>44,919</b>	<b>43,163</b>

# 連結損益計算書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

単位：百万円

科 目	当年度	[ご参考] 前年度
売上高	35,868	39,484
売上原価	11,956	12,320
売上総利益	23,911	27,163
販売費及び一般管理費	21,979	24,243
営業利益	1,932	2,919
営業外収益	310	146
受取利息	53	70
受取手数料	13	15
為替差益	29	-
受取補償金	-	19
助成金収入	168	-
その他	45	42
営業外費用	237	60
支払利息	8	1
支払保証料	30	37
為替差損	-	11
貸倒引当金繰入額	180	-
その他	17	10
経常利益	2,005	3,006
特別利益	1	-
固定資産売却益	1	-
特別損失	359	438
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	0	0
減損損失	359	438
税金等調整前当期純利益	1,647	2,567
法人税、住民税及び事業税	1,001	1,166
法人税等調整額	△189	△140
当期純利益	835	1,542
非支配株主に帰属する当期純利益及び非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△4	0
親会社株主に帰属する当期純利益	840	1,542

## 連結計算書類

### 連結株主資本等変動計算書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

単位：百万円

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2020年4月1日残高	3,667	3,558	19,141	△1,099	25,268
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△906		△906
親会社株主に帰属する当期純利益			840		840
自己株式の取得				△206	△206
自己株式の処分		△0		15	15
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	-	△0	△65	△190	△257
2021年3月31日残高	3,667	3,558	19,075	△1,289	25,011

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
2020年4月1日残高	△49	37	△76	△89	145	13	25,337
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							△906
親会社株主に帰属する当期純利益							840
自己株式の取得							△206
自己株式の処分							15
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）	146	△42	40	144	34	△4	174
連結会計年度中の変動額合計	146	△42	40	144	34	△4	△82
2021年3月31日残高	96	△5	△35	55	180	8	25,255



貸借対照表 (2021年3月31日現在)

単位：百万円

科 目	当年度	[ご参考] 前年度	科 目	当年度	[ご参考] 前年度
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>24,419</b>	<b>22,562</b>	<b>流動負債</b>	<b>11,295</b>	<b>9,769</b>
現金及び預金	17,686	15,893	買掛金	362	245
売掛金	2,782	2,776	未払金	1,869	2,072
商品	2,211	1,892	未払費用	450	460
貯蔵品	894	1,147	未払法人税等	1,024	560
前払費用	689	714	未払消費税等	362	360
その他	160	142	前受金	5,779	4,703
貸倒引当金	△5	△6	預り金	165	165
<b>固定資産</b>	<b>19,572</b>	<b>19,540</b>	賞与引当金	996	954
<b>有形固定資産</b>	<b>8,303</b>	<b>8,702</b>	役員賞与引当金	130	100
建物	4,471	4,722	商品保証引当金	31	38
構築物	75	75	ポイント引当金	107	96
機械及び装置	0	0	その他	14	13
車両運搬具	0	0	<b>固定負債</b>	<b>7,400</b>	<b>7,112</b>
工具器具備品	340	445	退職給付引当金	3,962	3,758
土地	3,415	3,453	資産除去債務	1,511	1,452
リース資産	－	4	その他	1,927	1,902
建設仮勘定	－	0	<b>負債合計</b>	<b>18,695</b>	<b>16,882</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>515</b>	<b>645</b>	<b>純資産の部</b>		
ソフトウェア	409	525	<b>株主資本</b>	<b>25,020</b>	<b>25,124</b>
その他	105	119	<b>資本金</b>	<b>3,667</b>	<b>3,667</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>10,754</b>	<b>10,192</b>	<b>資本剰余金</b>	<b>3,558</b>	<b>3,558</b>
投資有価証券	2,319	1,928	資本準備金	3,554	3,554
関係会社株式	2,088	2,145	その他資本剰余金	3	4
出資金	0	0	<b>利益剰余金</b>	<b>19,084</b>	<b>18,997</b>
長期貸付金	968	682	利益準備金	88	88
長期前払費用	6	7	その他利益剰余金	18,996	18,909
繰延税金資産	3,281	3,162	別途積立金	3,000	3,000
敷金及び保証金	2,431	2,393	繰越利益剰余金	15,996	15,909
会員権	90	90	<b>自己株式</b>	<b>△1,289</b>	<b>△1,099</b>
貸倒引当金	△433	△219	<b>評価・換算差額等</b>	<b>96</b>	<b>△49</b>
<b>資産合計</b>	<b>43,992</b>	<b>42,102</b>	<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>96</b>	<b>△49</b>
			<b>新株予約権</b>	<b>180</b>	<b>145</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>25,297</b>	<b>25,219</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>43,992</b>	<b>42,102</b>

# 計算書類

## 損益計算書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

単位：百万円

科 目	当年度	[ご参考] 前年度
売上高	34,649	38,697
売上原価	11,916	12,434
売上総利益	22,732	26,263
販売費及び一般管理費	20,592	23,262
営業利益	2,140	3,000
営業外収益	297	162
受取利息	54	70
為替差益	31	－
受取手数料	13	15
受取補償金	－	19
助成金収入	155	－
その他	41	57
営業外費用	270	77
支払利息	8	1
為替差損	－	21
貸倒引当金繰入額	214	7
支払保証料	31	37
その他	15	9
経常利益	2,167	3,085
特別利益	0	－
固定資産売却益	0	－
特別損失	394	549
固定資産除却損	0	0
減損損失	337	434
関係会社株式評価損	56	115
税引前当期純利益	1,772	2,535
法人税、住民税及び事業税	962	1,119
法人税等調整額	△183	△142
当期純利益	993	1,557

## 株主資本等変動計算書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

単位：百万円

	株 主 資 本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
2020年4月1日残高	3,667	3,554	4	3,558	88	3,000	15,909	18,997
事業年度中の変動額								
剰余金の配当							△906	△906
当期純利益							993	993
自己株式の取得								
自己株式の処分			△0	△0				
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）								
事業年度中の変動額合計	-	-	△0	△0	-	-	87	87
2021年3月31日残高	3,667	3,554	3	3,558	88	3,000	15,996	19,084

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2020年4月1日残高	△1,099	25,124	△49	△49	145	25,219
事業年度中の変動額						
剰余金の配当		△906				△906
当期純利益		993				993
自己株式の取得	△206	△206				△206
自己株式の処分	15	15				15
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）			146	146	34	181
事業年度中の変動額合計	△190	△104	146	146	34	77
2021年3月31日残高	△1,289	25,020	96	96	180	25,297

## 連結計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2021年5月18日

株式会社アートネイチャー  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人  
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 榎田達也<sup>Ⓔ</sup>  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 成田礼子<sup>Ⓔ</sup>  
業務執行社員

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社アートネイチャーの2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社アートネイチャー及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2021年5月18日

株式会社アートネイチャー  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人  
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 榎田達也<sup>Ⓔ</sup>  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 成田礼子<sup>Ⓔ</sup>  
業務執行社員

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社アートネイチャーの2020年4月1日から2021年3月31日までの第54期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2020年4月1日から2021年3月31日までの第54期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の結果、監査役全員の一致した意見として本監査報告書を作成し、以下のとおり報告をいたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
  - (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、執行役員及び内部監査担当部署その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
    - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役、執行役員及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
    - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制、その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役、執行役員及び使用人等からその構築及び運用の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
    - ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号イの基本方針については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
    - ④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。
- 以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

#### 2. 監査の結果

##### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。
- ④ 事業報告に記載されている当社財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針については、指摘すべき事項はありません。

##### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

##### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

#### 3. 後発事象

特に記載すべき重要な後発事象はございません。

2021年5月20日

株式会社アートネイチャー 監査役会

常勤監査役	松島 俊一	Ⓔ
社外監査役	長谷川 裕昭	Ⓔ
社外監査役	檜山 聡	Ⓔ

以上







## ● 株主総会会場のご案内

会場 東京都新宿区西新宿三丁目7番1号  
**新宿パークタワー パークハイアット東京**  
 39階 ボールルーム

交通のご案内

- JR線・小田急線 **新宿駅** 下車 **南口** …………… 徒歩約13分
- 京王新線 **初台駅** 下車 **東口** …………… 徒歩約10分
- 都営大江戸線 **都庁前駅** 下車 **A4出口** …………… 徒歩約7分



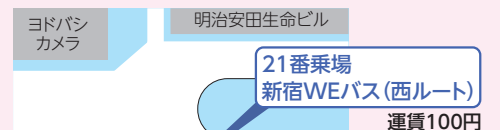
### 会場付近略図



## 新宿駅から「WEバス」が便利です。

新宿駅西口 京王バス21番乗場より  
 新宿WEバス 西ルート乗車

「パークハイアット東京前」下車 (5~10分で到着)



22番乗場 京王百貨店  
 20番乗場 新宿駅 西口



時刻表	8時	31	39	47	55	
	9時	03	11	19	27	37

UD FONT ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

